

令和元年度 山形市立第二中学校の教育

I 本校の教育目標

未来に向かって主体的に生きぬく生徒の育成

～友情・知性・健康・貢献～

＜めざす生徒像＞

- ・友情：思いやりと正義感にあふれる生徒
- ・知性：創造的で主体的に探究する生徒
- ・健康：心身ともに健康で朗らかな生徒
- ・貢献：人や社会のために進んで行動する生徒

＜めざす教師像＞

- ・常に生徒と共にあり、一人一人を大切にする教師
- ・研究と修養に励み、担任力と人間力のある教師
- ・心と体の成長を育み、いのち（命）を尊ぶ教師
- ・「感動・感謝・信頼」を生徒と共感できる教師

＜めざす学校像＞

- ・笑顔と歌声に満ちあふれ、ぬくもりのある学校
- ・学び合う授業や行事で賢くなれる学校
- ・安全・安心で、かけがえのないいのち（命）を大切にする学校
- ・花と緑に囲まれ、清掃の行き届いた学校

II 本校の経営方針

- 1 生徒の人間関係を豊かにする思いやりの心を育成し、お互いの良さを認め合う学級づくりを行う。
- 2 「学力は未来に羽ばたく翼」を合い言葉に確かな学力を育成する。
- 3 生徒の地域・社会に貢献する活動を実施し、地域・社会とつながる学校づくりを行う。
- 4 組織の一員として学校経営に積極的に参画し、組織で動くことを大切にする。
- 5 伝統を重んじ、より高い校風の樹立を目指し、全校あげて努力する。

III 学校経営の重点

- 1 日常的に危機意識を持ち、生徒が安全で安心して活動できる環境づくりに努め、心身ともに安定した生徒の育成を図る。
- 2 生徒一人一人のよさを認め、温かい係わり合いと居場所のある学級・学年経営を推進する。
- 3 積極的な生徒指導・教育相談を推進し、問題行動やいじめ、不登校の未然防止・早期対応に努める。
- 4 探究型学習を積極的に推進し、基礎・基本の徹底をはかるとともに、学ぶ喜びを実感させる授業を行う。
- 5 道徳の授業の充実をはじめ、読書活動を推進し、「いのち」の尊厳、自然への畏敬、人間として生きるすばらしさなどについて学び、豊かな感性と公正な判断力を育成する。
- 6 特別支援教育、情報教育、国際理解教育など社会の変化に対応する教育活動を推進する。
- 7 自主・自律の心を育成する生徒会活動の一層の推進を図る。～五垂の泉・生徒会憲章の実践、いじめ防止、ボランティア活動の活性化～
- 8 学校生活に活力と潤いをつけながら、心身のバランスのとれた成長を期するため、教育活動の一環としての部活動を推進する。
- 9 たより・HPによる発信と行事や授業の公開、学校評議員会や学校評価等を活かし、保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。

IV 本年度の重点目標（学習・奉仕・挑戦）

【確かな学びを育み学力向上を図る。】

1 個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。

（1）授業改善

- 指導方法の工夫や個別指導を充実させ、一人ひとりに基礎・基本を確実に定着させる。
- 習得・活用・探究のバランスを図り、「学ぶ楽しさが実感できる」授業づくりを行う。
- 探究型学習を積極的に推進する。（総合的な学習の時間の充実を含む）

（2）学習強調旬間

- 各学年の実態に応じ、放課後に学習強調旬間を実施する。（読書、自学、問題作成等）

（3）家庭学習（読書を含む）

- 家庭学習の手引きによる指導を徹底する。
- 家庭学習強調旬間を設定し、家庭学習の習慣化と充実を図る。

（4）諸テストの分析と対策

- NRTや全国学力学習状況調査等の結果の分析を行い、課題等について適切な対策を講じる。

2 授業力向上を図る研修の充実

（1）公開授業研究会（2019年10月実施）

- 今年10月に行われる公開授業研究会を成功させる。
- 研究の成果を市内外に積極的に発信する。

（2）校内授業研究会

- 校内授業研究会を充実させ、研究の成果と課題を明確にする。

（3）校内研修

- 教材や指導法についての情報交換や講演・講習など、校内での研修の機会を積極的に設ける。

（4）校外研修

- 先進的な指導技術の習得のため、校外での研修を積極的に推進する。

3 今日の課題に対応した教育の充実

（1）特別支援教育

- 特別支援コーディネーターを中心に、個に応じた支援計画・指導計画を作成し、組織的に支援を行う。

（2）キャリア教育

- 3年間を見通した全体計画を作成し、計画に基づいたキャリア教育を各学年で実施する。

（3）情報モラル

- 技術の時間を中心としながら、他機関との連携を図り、情報モラルの向上に努める。

（4）ボランティア教育

- 生徒会を中心としたボランティア活動を積極的に推進する。

【思いやりのある豊かな心の育成する。】

1 心の通い合う集団作りに努める

（1）学級会活動

- 所属感を高める取り組みを実施する。

（2）生徒会の取組

- 心の通い合う挨拶の徹底を図る取り組みを積極的に行う。

（3）異学年交流

- 異学年交流を充実させ、学年を超えた集団づくりを行う。

（4）各種行事への取組

- 各種行事への取り組みを通して、集団としての機能を充実させる。

2 規範意識の高揚に努める

（1）道徳の授業の工夫

- 規範意識を高めるための道徳の授業を工夫する。

（2）話し合い活動の充実

- 諸課題に対して、話し合いを通して解決するようにする。

- (3) 生徒会の取組
 - 自浄作用を高める取り組みを積極的に行う。
- (4) 初発指導の徹底
 - 初発指導の徹底を図り、同一步調で指導に当たる。
 - 教職員、全校生徒、保護者の共通理解を図る。
- 3 生徒指導・教育相談機能の充実を図る
 - (1) 生活アンケート
 - 毎月1回のアンケートを実施し、早期に悩みを把握できるようにする。
 - アンケート後の気になる生徒と確実に二者面談を行い、いつでも悩みを相談できる体制を整える。
 - (2) いじめ防止
 - 5月と11月にいじめアンケートと面談を実施し、いじめの早期発見・対応に努め、誰もが安全・安心な学校生活を送れるようにする。
 - 主任会、教育相談委員会等での情報交換を密にし、全職員で全生徒を理解し指導する体制を構築する。
 - (3) QUテスト
 - 年間2回行い、学級の実態を把握し、適切な対応ができるようにする。
 - (4) 生徒理解研修会
 - 生徒理解に努め、個に応じた対応ができるようにする。
 - 実態に応じた研修会を工夫する。
 - (5) 教育相談委員会
 - 不登校生徒の把握と早期対応に努める。
 - OSC、教育相談主任、養教の助言を受け、不登校生徒への指導計画を作成し、実施する。

【心身ともに健やかな生徒を育てる。】

- 1 自他の生命を大切にする指導の充実を図る
 - (1) いのちの教育
 - 各学年で、教科・道徳・学活・総合に位置づけ、生命のつながりや大切さに気づかせる。
 - (2) 性教育
 - 養教と連携し、教科・道徳・学活・総合に位置づけ、発達段階に即した指導を行う。
- 2 心身の健康づくりに全校で取り組む
 - (1) 生活リズムの確立
 - 生活リズムに関する調査を実施し、保護者と協力して生活リズムの改善を図る。
 - (2) 食育指導
 - 家庭科の授業を中心としながら、食に対する適切な判断力を養い、生涯に渡って健全な食生活ができるように指導する。
 - (3) 体カテストの分析と対策
 - 体カテスト等の分析を行い、体育の授業を中心としながら、適切な対策を講じる。
 - (4) 部活動
 - 部活動の経営方針に基づいた適切な活動に努める。
 - 限られた時間の中で、最大の効果を発揮できる効率の良い練習方法を研究する。
 - 部活動数の適正化を図る。
 - (5) 駅伝への取組
 - 駅伝への取り組み方を工夫し、全校体制で指導に当たる。
- 3 安全教育・環境教育の充実に努める
 - (1) 危機回避能力の育成
 - 避難訓練・不審者対応や交通安全教室などを通して安全教育の充実を図る。
 - (2) 安全点検
 - 月1回の安全点検を確実に実施し、事故の未然防止に努める。
 - (3) 清掃指導
 - 班編成や清掃の方法等を工夫し、本気で清掃に取り組む生徒を育てる。
 - (4) スクールエコプランを作成し、環境教育の充実を図る。